

月と雷 (2016)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 120分

初公開日 2017/10/07

公開情報 スールキートス

映倫 R15+

【キャッチコピー】

置き去りにされた時間が
私の中で動き出す

【解説】

角田光代の同名小説を「海を感じる時」「花芯」の安藤尋監督が映画化。かつて子連れの人によって家族を壊された過去を持つヒロインが、大人になってその母子と再会したことで、地道に築いてきた普通の生活を狂わされていくさまと、その中で葛藤しながらも自らの人生を見つめ直していく姿を描き出す。主演は「ノルウェイの森」「終戦のエンペラー」の初音映莉子、共演に高良健吾、草刈民代。

幼い頃に母が家を出て行って以来、普通の家庭を知らずに育った泰子。亡き父が遺してくれた家に暮らす彼女は、職場であるスーパーで知り合った男性との結婚を控え、これからは普通の人生を送っていけるものと信じていた。そんなある日、泰子の前にひとりの青年・智が現われる。20年前、智とその母で父の愛人だった直子が家に転がり込んできて、半年間だけ一緒に暮らしていたのだった。当時は仲良く遊んでいた泰子と智。普通の生活を願っていたはずの泰子だったが、突然の智の登場で、思わぬさざ波が立ち始める。やがて、当の直子もふらりと現われ、おまけに異父妹・亜里砂の存在も判明するなど、激変していく日常に戸惑いを隠せない泰子だったが…。

【クレジット】

監督	安藤尋
製作	間宮登良松
	村田嘉邦
	小笠原明男
	小松賢志
	高木徳昭
エグゼクティブプロデューサー	加藤和夫
	村上比呂夫
プロデューサー	川崎岳
	宮崎大
協力プロデューサー	田坂公章
	本島章雄
原作	角田光代
脚本	本調有香
撮影	鈴木一博
美術	林千奈
編集	蛭田智子

音楽	大友良英	
照明	中西克之	
録音	岩倉雅之	
スタイリスト	小倉久乃	
ヘアメイク	酒井夢月	
助監督	石井晋一	
出演	初音映莉子	泰子
	高良健吾	智
	藤井武美	佐伯亜里砂
	黒田大輔	山本信太郎
	市川由衣	吉村
	村上淳	泰子の父
	木場勝己	岡本
	草刈民代	直子